

在宅避難のとき



ライフライン

- 懐中電灯・ヘッドランプ
- 乾電池・モバイルバッテリー
- ランタン型LEDライト
- カセットコンロ
- カセットボンベ
(1日1本弱/人)

食料 最低3日分準備

※できれば1週間分準備

- 飲料水(1日3ℓ/人)
- 米
- 乾麺・乾物
- レトルト食品
- 缶詰(肉・魚・果物など)

- 調味料(砂糖・醤油・味噌など)
- 野菜類
(日持ちする物:玉ねぎなど)
- 菓子類

水を使わないための工夫

- 食品用ラップ
(お皿に巻いて使う)
- 紙皿、紙コップ、割りばし
- キッチンペーパー
- 使い捨ての身体拭き
- ドライシャンプー
- 非常用簡易トイレ
- 芳香剤・消臭スプレー

持ち出すとき



- 水(ペットボトル・給水容器)
- 食品(ごはん、レトルト食品など)
- 救急セット・常備薬
- ラジオ
- 懐中電灯・ヘッドランプ
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 乾電池・モバイルバッテリー
- マッチ・ロウソク
- 筆記用具
- 預金通帳
- 現金(小銭も用意しておく)
- 手袋・軍手
- 着替え
- タオル

- 毛布
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- マスク
- 体温計
- 除菌液・除菌シート

子ども向け

- ミルク・使い捨て哺乳瓶
- 紙おむつ・おしりふき
- 抱っこひも など

高齢者向け

- 紙パンツ
- 介護食
- 持病の薬 など

災害時には、救助や救援物資が届くまでに数日かかることがあります。また、ライフラインや物流が機能しなくなることも想定されます。在宅避難で必要なもの、自宅以外の場所に避難する時に持ち出すものを避難用リュックサックなどにまとめて用意しておきましょう。

備え①
避難時にあると便利な
アイテムを揃えておこう

食事にアレルギーのある方は、自分に合った食べ物を用意しておきましょう！



9月1日は「防災の日」、そして防災の日を含む1週間は、「防災週間」とされています。防災の日は、関東大震災が起こったことと、この時期に台風がよく来ることから制定されました。秋の台風は本州を直撃する進路を取ることが多く、加西市でも大雨や洪水による大きな被害は、9月と10月に集中しています。秋の台風シーズンを迎えるタイミングで、災害対策を見直してみませんか。

加西市の大きな風水害

<平成16年10月 台風23号>	
負傷者	2名
半壊	2棟
床上浸水	68世帯
<平成23年9月 台風12号>	
半壊	2件
床上浸水	23件
床下浸水	321件

【写真】台風被害
(上) 平成27年、台風11号でため池の堤防が崩落 (別府西町)
(下) 平成23年、台風12号の豪雨で住宅、道路も冠水被害が (下若井町)

いざという時に、備える

加西市は、地理的な条件もあり、幸いなことに災害による甚大な被害は少ないです。しかし、過去には、床上浸水となる被害もありました。また、台風や大雨の後には、床上浸水や法面の崩れ、ブロック塀の崩れなどが多く報告されています。

平成30年には、8月と9月の大型台風により市内の小学校を避難所として開設しました。

「次は自分かも」の意識で

近年、毎年のように「記録的豪雨」などの言葉が聞かれ、大雨や洪水、最近では線状降水帯などによる災害が激甚化しています。被災地では、「これまで、何十年も住んでいるけど、災害なんて起こったことがなかった」。「まさか、自分の家が被害に遭うなんて」といった声がよく聞かれます。一方で、事前対策をしたり、早めの避難で、被害を免れた事例も耳にしませんか。

次は、自分の身の回りで起こるかもしれない意識で、いざというときに困らない備えを始めてみましょう。

今回は、「避難の時にあると便利なアイテム」と「マイ避難カードの作り方」をご紹介します。災害が起こったときを想像して、どう備えるか、ご家族で話し合い考えてみましょう。

危機管理課 担当者へ聞く

災害への備え方

災害対策と聞くと難しく考えてしまいがちだと思います。災害が起こったときに慌てないように日頃から、気軽に情報収集を始めてみてください。

例えば、「ひょうご防災ネット」では災害などの緊急情報以外に、熱中症警戒アラートなど日常で役立つ情報もお知らせしています。

そのほか、超高密度気象観測システム「POTEKA(ポテカ)」もおすすめです。市内4か所で観測している気象状況をリアルタイムで確認できます。普段から情報をチェックしておくことで台風などの際の危険を判断しやすくなります。

最後に、台風が接近しているときは、不要不急の外出は避け、ケガや事故に遭わないようにしましょう。



危機管理課 宮脇さん

POTEKA (超高密度気象観測システム) 市内4カ所に設置。雨量、温度、湿度、気圧などをピンポイントで確認できる

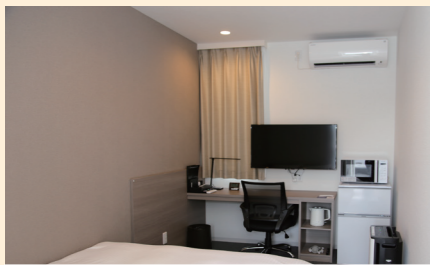
県内初

コンテナホテル 誕生

7月6日、北条町東南に県内初となるコンテナホテル「HOTEL R 9 The Yard 加西」がオープンしました。ホテル運営会社の株式会社デベロップと加西市は災害時に避難場所として利用できる協定を締結しました。建築用コンテナモジュールメーカーである同社が、東日本大震災で被災地へコンテナを提供したことをきっかけにできたホテルです。

災害時は避難場所に

通常は36室のビジネスホテルとして運営されていますが、災害時には「レスキューホテル」として、これらの客室を避難場所にご利用することができます。また、増設が必要な場合には、全国にある拠点から市内のホテルまたは公共施設等へ移設し、避難施設や医療拠点としても活用できます。



【写真】ダブルルーム：通常は2名利用
災害時は家族単位(最大4名)で利用できる

HOTEL R9 The Yard 加西
住所：加西市北条町東南189-1
電話：0790-33-9095
客室：ダブルルーム(2名)・31室
ツインルーム(2名)・3室
デラックスツインルーム(4名)・2室



公式HP